

10

気づくと日本一Rな街でした！

ECO 3R
では収まらない!!

萩之茶屋Rなまち宣言

- Renovation
(リノベーション：再生・改修)
- Repair
(リペア：直す)
- Remix
(リミックス：再編集)
- Rental
(レンタル：借りる)
- Recall
(リコール：思い起こす)
- Returnable
(リターナブル：戻す)
- Reform
(リフォーム：改良する)
- Reborn
(リボーン：改修・生まれ変わる)
- Regeneration
(リジェネレーション：地域や世代の再生)
- Recreate
(リクリエイト：楽しむ・創生する)
- React
(リアクト：響き合う)
- Restore
(レストア：復元する)

など

皆さんご存知『環境配慮の3R』（Reduce リデュース・Reuse リユース・Recycle リサイクル）は有名ですね。この町は「空き缶リサイクル」をはじめ昔から実践してきたまちともいえます。日本の最先端技術を実践（実験）する3Rのまちという戦略は“アリ”かもしれません。また、食品衣料をはじめ建築廃材などの廃棄が社会問題になっているなかで、フードバンクや廃材バンクなどの仕組みも生まれてきています。これから始まる事業に組み込んだ「もったいないプロジェクト」なども考えられます。

まだこのまちには、「きたない」や「環境が悪い」というイメージがつきまとっているようですが、とくにこの5年で地域の環境整備事業も進み、まちのイメージも4割近くがこの5年でよくなったと答えています。「日本で一番エコなまち」や「リノベーションのまちづくり」、「地域循環居住」、「リクリエイト（楽しむ・創生する）」、「リコール（思い起こす）」、「リジェネレーション（地域や世代の再生）」、そして何よりも本提言の主テーマである「再チャレンジ」を含めて「再生」の意味が強い“R”のプロジェクトは、まちづくりのテーマ性として有効だと考えます。左欄にReのキーワードを並べてみましたが、とてもこのまちの特性を表していると思いませんか？今回のアクションは、このRをベースにデザインされています。

今宮中学校・萩之茶屋小学校周辺まちづくり研究会による 萩之茶屋油田化プロジェクト(油化実験)

15年ほど前に地域のまちづくり協議会で実施した企画で、①子ども達とともに環境問題を考え、②地域のゴミ問題に対して地域の人々の意識を高め、③連携を図りながら、④地域のマイナスイメージを「日本一エコなまち」というプラスイメージに変えていこう。という取り組みです。当日の萩之茶屋小学校の理科室で行いました。子ども達が家から持参したペットボトルのフタを油化装置に入れて、石油を抽出しました。今、わが国は世界で2番目にプラスチックごみが多い国としてその対応を求められているようです。いまからでも遅くない活動として、再びまちづくりの重要なテーマになるかもしれません。



廃棄をまつ建築建材

すぐれた性能を持つ断熱材も廃棄コストもばかにならないゴミとなっています。今回のリノベーション事業で用いたい資源ですね。このような廃材利活用は、業者にとってもまちにとっても有効な仕組みになると考えています。